

千葉市感染症発生動向調査情報

2021年 第19週 (5/10-5/16) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		19週	18週	17週	16週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	17	17	13	17
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	27	27	19	27
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	5/10-5/16	5/3-5/9	4/26-5/2	4/19-4/25	5/3-5/9
			19週	18週	17週	16週	18週
小児科	RSウイルス感染症	↓	2 0.12	3 0.18	0 0.00	2 0.12	6 0.05
	咽頭結膜熱		3 0.18	0 0.00	1 0.08	5 0.29	2 0.02
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8 0.47	2 0.12	5 0.38	5 0.29	39 0.30
	感染性胃腸炎	○	48 2.82	27 1.59	29 2.23	27 1.59	178 1.38
	水痘		5 0.29	2 0.12	0 0.00	1 0.06	12 0.09
	手足口病		0 0.00	0 0.00	1 0.08	0 0.00	0 0.00
	伝染性紅斑		1 0.06	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.03
	突発性発しん		10 0.59	8 0.47	12 0.92	12 0.71	51 0.40
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性耳下腺炎		2 0.12	1 0.06	2 0.15	1 0.06	8 0.06
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.20	2 0.06
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(154件)

※新型コロナウイルス感染症151件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	10歳代	IGRA検査等	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	70歳代	病原体の分離・同定
結核	女性	30歳代	IGRA検査	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代~90歳代	病原体遺伝子の検出等

・第19週は、結核2件(55)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(9)、新型コロナウイルス感染症151件(4311)の発生届があった。

※ ()内は2021年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第19週のコメント

<RSウイルス感染症> 前週より減少したが、過去10年の同時期と比べると多い。

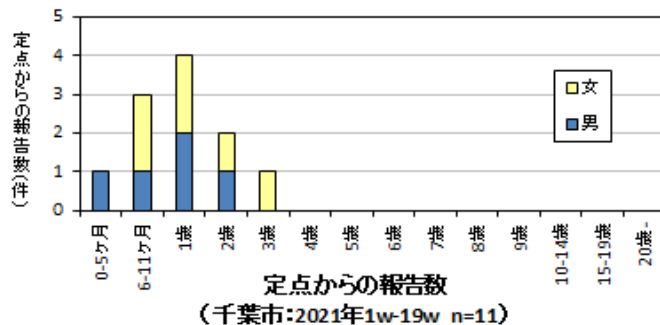
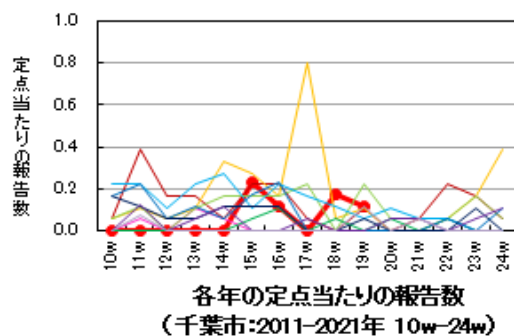
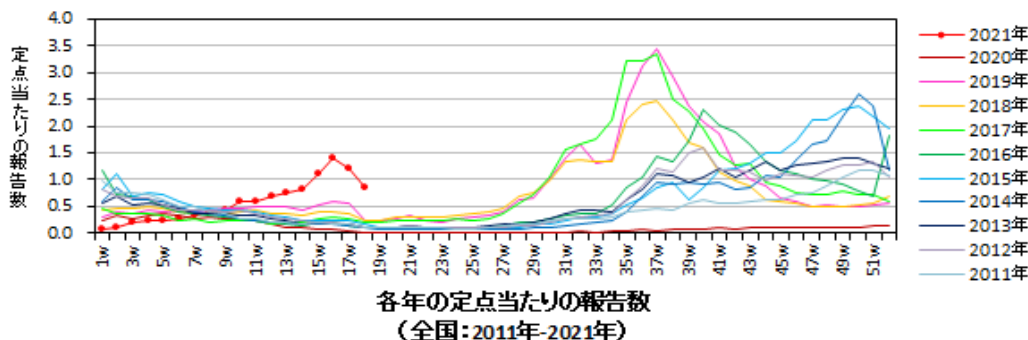
<感染性胃腸炎> 前週より増加し、今年最多となった。過去10年の同時期と比べると少ない。

■ トピック ■

<RSウイルス感染症>

全国レベルの発生動向は、第10週に過去10年の同時期と比べ最多となり、第16週以降は減少していますが、第18週は0.86で依然として過去10年の同時期と比べ最多のままとなっています。都道府県別では石川県、佐賀県、富山県の順で多く報告されており、第17週までは主に九州地方で多く報告されていましたが、北陸地方等他の地域が多くなってきています。関東地方は全国レベルと比べると少なく、千葉県は0.05となっています。

千葉市の第19週は、前週より減少し0.12となりましたが、過去10年の同時期と比べると多いままです。区別の発生状況は、緑区(0.5)で年齢階級別では6-11か月と1歳で発生報告がありました。2021年の累積報告数は11件で、男性が45.5%(5件)、女性が54.5%(6件)で、1歳(36.4%:4件)、6-11か月(27.3%:3件)、2歳(18.2%:2件)の順で多くなっています。



<感染性胃腸炎>

全国レベルの第18週は2.18で、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、高知県、愛媛県、香川県の順で多く報告されています。千葉県は1.38で全国レベルと比べると少なめです。

千葉市では第13週から第14週にかけて減少した後、第15週から増加傾向に転じ第19週は前週より増加し2.82となり、今年最多となりました。区別の発生状況は、緑区(3.75)で最多で、1歳で最も多く発生報告がありました。その他、中央区や稲毛区での1歳の増加が特に目立っています。2021年第1週から第19週までの累積報告数は583件で、男性57.5%(335件)、女性42.5%(248件)となっており、年齢階級別では1歳(19.4%:113件)、2歳(13.0%:76件)、3歳(11.5%:67件)の順で多くなっています。

